

日本地震学会 2021 年度秋季大会

日程 2021 年 10 月 14 日(木) ～ 16 日(土)

会場 オンライン

【大会会場サイト】 <https://confit.atlas.jp/guide/event/zisin2021/top>

【A 会場・ B 会場・ C 会場・ D 会場】 各 Zoom 会議室

【授賞式および記念講演】 A 会場

【ポスター会場】 ポスター掲載サイトおよび Zoom ブレイクアウトルーム

【団体展示】 企業展示サイト

		A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
10 月 14 日 (木)	09：00 ～ 12：15	S21. 震源物理・地下構造推定・強震動評価のための地震波スペクトル解析 S19. 地震一般・その他 S15. 強震動・地震災害	S23. ベイズ統計学による地震データの解析と数理モデリングの深化	S09. 地震活動とその物理	S06. 地殻構造
	13：30 ～ 15：00	S15. 強震動・地震災害	S23. ベイズ統計学による地震データの解析と数理モデリングの深化 S22. AI による地震学の発展	S09. 地震活動とその物理	S06. 地殻構造 S03. 地殻変動・GNSS・重力
	15：30 ～ 17：00	ポスターセッション コアタイム（会場：Zoom ブレイクアウトルーム） S03. 地殻変動・GNSS・重力, S06. 地殻構造, S09. 地震活動とその物理, S13. 地殻流体と地震, S15. 強震動・地震災害, S19. 地震一般・その他, S21. 震源物理・地下構造推定・強震動評価のための地震波スペクトル解析, S22. AI による地震学の発展, S23. ベイズ統計学による地震データの解析と数理モデリングの深化			
10 月 15 日 (金)	09：00 ～ 12：15	S15. 強震動・地震災害 S16. 地盤構造・地盤震動	S08. 地震発生の物理	S09. 地震活動とその物理 S17. 津波	S03. 地殻変動・GNSS・重力 S11. 地震に伴う諸現象 S02. 地震計測・処理システム
	13：30 ～ 15：00	S04. テクトニクス	S08. 地震発生の物理	S17. 津波	S02. 地震計測・処理システム S14. 地震予知・予測
	15：30 ～ 17：00	ポスターセッション コアタイム（会場：Zoom ブレイクアウトルーム） S01. 地震の理論・解析法, S02. 地震計測・処理システム, S04. テクトニクス, S07. 地球及び惑星の内部構造と物性, S08. 地震発生の物理, S10. 活断層・歴史地震, S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力, S14. 地震予知・予測, S16. 地盤構造・地盤震動, S17. 津波			
10 月 16 日 (土)	09：00 ～ 10：30	S20. 授賞式および記念講演（A 会場）			
	11：00 ～ 12：15	S01. 地震の理論・解析法	S08. 地震発生の物理	S10. 活断層・歴史地震	
	13：30 ～ 15：00	S01. 地震の理論・解析法 S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力	S08. 地震発生の物理 S18. 地震教育・地震学史	S10. 活断層・歴史地震 S07. 地球及び惑星の内部構造と物性	

S05 は発表なし. S11 と S18 は口頭発表のみ. S13 はポスター発表のみ.
学会の委員会活動を紹介する「S24. 社会に対する委員会の活動」のポスターもウェブ掲載.
すべてのセッションのポスターは 3 日間通してウェブ掲載.
懇親会は開催されません.

10月14日(木) 口頭発表

A会場（Zoom会議室）午前 S21. 震源物理・地下構造推定・強震動評価のための地震波スペクトル解析 S19. 地震一般・その他 S15. 強震動・地震災害 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）	B会場（Zoom会議室）午前 S23. ベイズ統計学による地震データの解析と数理モデリングの深化 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分） 招待講演（講演時間17分・質疑応答3分）	C会場（Zoom会議室）午前 S09. 地震活動とその物理 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）	D会場（Zoom会議室）午前 S06. 地殻構造 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
座長 S21.内出 崇彦・染井 一寛／S19.山田 真澄	座長 加藤 愛太郎、長尾 大道	座長 麻生 尚文、上田 拓	座長 仲西 理子
9:00 S21-01# Introduction to the SCEC Community Stress Drop Validation Study Baltay Annemarie ² 、Abercrombie Rachel ³ 、*平 貴昭 ¹ (¹ Berkeley Seismological Laboratory、 ² U.S. Geological Survey、 ³ Boston University)	9:00 S23-01 豊後水道長期的スロースリップにおけるすべり分布のベイズマルチモデル推定: 先験的拘束条件の推定結果に対する影響 *縣 亮一郎 ¹ 、中田 令子 ² 、笠原 天人 ³ 、八木 勇治 ⁴ 、瀬下 幸成 ⁵ 、吉岡 祥一 ⁵ 、飯沼 卓史 ¹ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 東北大学大学院理学研究科、 ³ 所属なし、 ⁴ 筑波大学大学院 生命環境系、 ⁵ 神戸大学大学院理学研究科)	9:00 S09-01 Spatio-temporal clustering of successive earthquakes:analyses of global CMT and F-net catalogs *Thystere Matondo Bantidi、Takeshi Nishimura (TOHOKU UNIVERSITY)	9:00 S06-01 三陸沖光ケーブル観測システムのDistributed Acoustic Sensingデータを用いたレイリー波位相速度の計測 *福島 駿 ¹ 、篠原 雅尚 ² 、山田 知朗 ² 、西田 究 ² 、竹尾 明子 ² 、逢田 清 ³ (¹ 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 北海道大学 理学院 自然史科学専攻 地球惑星ダイナミクス分野)
9:15 S21-02 多重スペクトル解析による小地震の震源過程の複雑性の定量化 *内出 崇彦(国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター)	9:15 S23-02 シンプレクティックアジョイント法に基づく超高精度不確定性定量化法と地震学への応用 *伊藤 伸一(東京大学地震研究所)	9:15 S09-02 Long-term probability earthquake forecasts based on the ETAS model *庄 建倉(統計数理研究所)	9:15 S06-02 S-net連続記録で捉えた東北沖における上盤底部構造の時間変化 *利根川 貴志 ¹ 、高木 涼太 ² 、澤崎 郁 ³ 、汐見 勝彦 ³ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 東北大学、 ³ 防災科学技術研究所)
9:30 S21-03 九州東方沖のフィリピン海プレート上における摩擦特性の空間分布:小地震の応力降下量による推定 *山田 卓司(茨城大学)	9:30 S23-03 ハミルトニアンモンテカルロ法を活用した断層モデル推定とメトロポリス・ヘイスティング法との比較 *山田 太介 ¹ 、太田 雄策 ¹ 、大野 圭太郎 ² (¹ 東北大学大学院理学研究科附属 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 国土交通省国土地理院)	9:30 S09-03 マイグレーションの見えない点クラスターから拡散的な特徴を抽出する *麻生 尚文(東京工業大学)	9:30 S06-03 2019年海陸統合地震探査による東北日本弧中部の地殻・上部マントル構造 *岩崎 貴哉 ¹ 、佐藤 比呂志 ^{2,3} 、蔵下 英司 ² 、石毛 宏和 ⁴ 、清水 英彦 ⁴ 、石山 達也 ² 、飯高 隆 ² 、篠原 雅尚 ² 、川崎 慎治 ⁴ 、阿部 進 ⁴ 、平田 直 ^{5,2} (¹ 地震予知総合研究振興会、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 静岡大学防災総合センター、 ⁴ (株)地球科学総合研究所、 ⁵ 国立研究開発法人防災科学技術研究所)
9:45 S21-04 S波部と全波の分離サイト増幅特性と水平上下比一異なる補正係数の必要性 *川瀬 博 ¹ 、伊藤 恵理 ¹ 、仲野 健一 ² (¹ 京都大学防災研究所、 ² 安藤・ハザマ技術研究所)	9:45 S23-04 構造正則化を応用した地震波トモグラフィ法による速度不連続面の検出 *倉田 澄人 ¹ 、山中 遥太 ¹ 、矢野 恵佑 ² 、駒木 文保 ¹ 、椎名 高裕 ³ 、加藤 愛太郎 ¹ (¹ 京大、 ² 統計数理研究所、 ³ 産業技術総合研究所)	9:45 S09-04 地殻内地震活動とGNSS変位から推定される表層荷重の季節変動性 *上田 拓 ¹ 、加藤 愛太郎 ¹ 、Johnson Christopher ² 、寺川 寿子 ³ (¹ 東京大学地震研究所、 ² ロスアラモス国立研究所、 ³ 名古屋大学 大学院環境学研究科 附属地震火山研究センター)	9:45 S06-04 S波レーンバ関数解析から推測される日本海下のリソスフェア・アセノスフェア境界 *悪原 岳 ¹ 、中東 和夫 ² 、篠原 雅尚 ¹ 、山田 知朗 ¹ 、塩原 肇 ¹ 、山下 裕亮 ³ 、望月 公廣 ¹ 、植平 賢司 ⁴ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 東京海洋大学、 ³ 京都大学防災研究所、 ⁴ 防災科学技術研究所)
10:00 S19-01 点過程モデルが推定する背景地震活動の時間変動から見た長野県中部の群発地震活動の特徴 *熊澤 貴雄 ¹ 、尾形 良彦 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 統計数理研究所)	10:00 S23-05 相互情報量と相関係数の積を用いたマッチドフィルタ法による深部低周波地震の検出 *栗原 亮 ¹ 、加藤 愛太郎 ¹ 、倉田 澄人 ² 、長尾 大道 ^{1,2} (¹ 東京大学地震研究所、 ² 東京大学大学院情報理工学研究科)	10:00 S09-05 スロースリップイベントによる地震活動誘発効果を陽に組み込んだETASモデルの開発 *西川 友章、西村 卓也(京都大学防災研究所)	10:00 S06-05 地震波異方性に基づく首都圏下のPHSスラブ構造についての新たな解釈 *石瀬 素子 ¹ 、加藤 愛太郎 ¹ 、酒井 慎一 ¹ 、中川 茂樹 ¹ 、平田 直 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 防災科学技術研究所)
10:15 S19-02 2021年4月26日北海道謎の爆発音の震源推定 *山田 真澄(京大大学防災研究所)	10:15 S23-06 liトレンドフィルタリングによる西南日本GNSSアレイからの短期スロースリップ現象の検出 *矢野 恵佑 ¹ 、加納 将行 ² (¹ 統計数理研究所、 ² 東北大学)	10:15 S09-06 南海トラフのプレート内地震活動度と長期的スロースリップイベントの時空間的關係 *三井 雄太 ¹ 、上原 啓嗣 ¹ 、小杉 一誠 ² 、松尾 功二 ³ (¹ 静岡大学理学部、 ² 静岡大学総合科学技術研究科、 ³ 国土地理院)	10:15 S06-06 駿河トラフから東海地域に沈み込むフィリピン海プレート形状 *松原 誠 ¹ 、汐見 勝彦 ¹ 、馬場 久紀 ² 、佐藤 比呂志 ³ 、西宮 隆仁 ⁴ (¹ 防災科学技術研究所、 ² 東海大学海洋学部 海洋地球科学科、 ³ 東京大学地震研究所、 ⁴ 気象庁気象研究所)
10:30 休憩 座長 伊藤 恵理、森川 信之	10:30 休憩 座長 長尾 大道、加藤 愛太郎	10:30 休憩 座長 遠田 晋次、福田 孔達	10:30 休憩 座長 石瀬 素子
11:00 S15-01 観測できていない強烈な衝撃的鉛直地震波動についてーその3ー 地震計で捉え難い威力波ー *前原 博((-財)地球システム総合研究所)	11:00 S23-07# ベイズインバージョンにまつわるいくつかの問題について *深畑 幸俊(京都大学防災研究所 地震予知研究センター)	11:00 S09-07 ETASモデルの時系列におけるイベント間間隔についてのベイズ更新に基づいて推定されたイベント発生時刻の統計的評価 *田中 宏樹、梅野 健(京都大学大学院 情報学研究科)	11:00 S06-07 伊豆衝突帯とその周辺におけるフィリピン海プレートおよびスラブの地殻の厚さ *本多 亮 ¹ 、安部 祐希 ¹ 、石瀬 素子 ² 、酒井 慎一 ^{3,2} 、行竹 洋平 ² 、道家 涼介 ¹ (¹ 神奈川県温泉地学研究所、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 東京大学大学院情報学環・学際情報学府)
11:15 S15-02 強震動データベース試作版に基づく地震動予測式の拡張 *森川 信之、藤原 広行、岩城 麻子、前田 宜浩(防災科学技術研究所)	11:20 S23-08# ベイズ統計学による測地データの非線形逆解析 *福田 淳一 ¹ 、Johnson Kaj ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² Department of Earth and Atmospheric Sciences, Indiana University)	11:15 S09-08 東北地方太平洋沖地震の長期余震活動 ー震源域の静穏化と周辺部の継続的活発化 *遠田 晋次 ¹ 、スタイン ロス ² (¹ 東北大学災害科学国際研究所 災害評価・低減研究部門、 ² テンブラー)	11:15 S06-08 南海トラフ域の3次元地震波速度・密度構造の構築 *仲西 理子 ¹ 、Qin Yanfang ¹ 、Liu Xin ¹ 、藤江 剛 ¹ 、汐見 勝彦 ² 、小平 秀一 ¹ 、高橋 成実 ^{1,2} 、中村 武史 ³ 、富士原 敏也 ¹ (¹ 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、 ² 防災科学技術研究所、 ³ 電力中央研究所)
11:30 S15-03 成層構造における直達S波の透過率を考慮した地震動距離減衰特性の検討 *池浦 友則(鹿島技術研究所)	11:40 S23-09# A Bayesian framework for Earthquake Early Warning *Stephen Wu(統計数理研究所)	11:30 S09-09 混合分布による南海トラフ深部低周波微動の規模分布 *岩田 貴樹 ¹ 、平松 良浩 ² (¹ 県立広島大学、 ² 金沢大学)	11:30 S06-09 南海トラフ室戸沖における詳細な地震波速度構造:稠密OBS探査データを用いた波形解析 *藤江 剛、新井 隆太、白石 和也、中村 恭之、小平 秀一、海宝 由佳、尾鼻 浩一郎、三浦 誠一(海洋研究開発機構)
11:45 S15-04 近地地震波形に見られるsPL波とPL波の生成・伝播特性:震源深さの即時推定への活用可能性 *大須賀 啓士、古村 孝志(東京大学地震研究所)	11:45 S09-10 モーメント比を用いた強度情報抽出の試み *松本 聡 ¹ 、光岡 郁穂 ² 、飯尾 能久 ³ 、酒井 慎一 ⁴ 、加藤 愛太郎 ⁵ (¹ 九州大学大学院理学研究院地震火山観測研究センター、 ² 九州大学大学院理学府、 ³ 京都大学防災研究所、 ⁴ 東京大学大学院情報学環・学際情報学府、 ⁵ 東京大学地震研究所)	11:45 S09-10 モーメント比を用いた強度情報抽出の試み *松本 聡 ¹ 、光岡 郁穂 ² 、飯尾 能久 ³ 、酒井 慎一 ⁴ 、加藤 愛太郎 ⁵ (¹ 九州大学大学院理学研究院地震火山観測研究センター、 ² 九州大学大学院理学府、 ³ 京都大学防災研究所、 ⁴ 東京大学大学院情報学環・学際情報学府、 ⁵ 東京大学地震研究所)	11:45 S06-10 日向灘における稠密地殻構造探査に基づくプレート沈み込み構造とスロー地震活動の關係 *新井 隆太 ¹ 、三浦 誠一 ¹ 、中村 恭之 ¹ 、藤江 剛 ¹ 、海宝 由佳 ¹ 、小平 秀一 ¹ 、望月 公廣 ² 、仲田 理映 ² 、沖野 郷子 ³ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 東京大学大気海洋研究所)
12:00 S15-05 地震波逆伝播計算を用いた大地震の断層すべり即時推定の高解像度化 *柴田 勇吾 ¹ 、古村 孝志 ¹ 、前田 拓人 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 弘前大学大学院理工学研究科)	12:00 S23-10 連続地震計記録の極値統計解析に基づく大地震後の平常時に対する揺れやすさの予測 *澤崎 郁(防災科学技術研究所 地震津波防災研究部門)	12:00 S09-11 セルオートマトンを用いた時定数の競合による地震モデル *福田 孔達 ¹ 、波多野 恭弘 ² 、望月 公廣 ¹ (¹ 東京大学地震研究所地震予知研究センター、 ² 大阪大学理学研究科宇宙地球科学専攻)	12:00 S06-11 High-Resolution Seismic Imaging of the subducting Kyushu-Palau Ridge in the Hyuga-Nada in relation to the 2013 and 2015 tectonic tremor distributions *馬 研雪 ¹ 、仲田 理映 ¹ 、望月 公廣 ¹ 、三浦 誠一 ² 、中村 恭之 ² 、新井 隆太 ² 、藤江 剛 ² 、海宝 由佳 ² 、小平 秀一 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 海洋研究開発機構)
A会場（Zoom会議室）午後 S15. 強震動・地震災害 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）	B会場（Zoom会議室）午後 S23. ベイズ統計学による地震データの解析と数理モデリングの深化 S22. AIによる地震学の発展 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）	C会場（Zoom会議室）午後 S09. 地震活動とその物理 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）	D会場（Zoom会議室）午後 S06. 地殻構造 S03. 地殻変動・GNSS・重力 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
座長 野津 厚、吉田 昌平	座長 矢野 恵佑、久保 久彦	座長 野田 雄貴、中野 優	座長 S06.田中 優作／S03.小林 知勝、田中 優作
13:30 S15-06 1896年陸羽地震における動力学的検討に基づく分岐断層の破壊過程を考慮した運動学的震源モデルによる地震動評価 *熊谷 周治 ¹ 、松川 晃明 ² 、三橋 祐太 ² 、西條 裕介 ² (¹ 東北電力株式会社、 ² 株式会社構造計画研究所)	13:30 S23-11 The research of spherical time-space ETAS model *熊 子瑠、庄 建倉(統計数理研究所)	13:30 S09-12 龍神湖(大町ダム)付近の地震活動 *酒井 慎一 ^{1,2} 、秋山 峻寛 ² (¹ 東京大学大学院 情報学環・学際情報学府、 ² 東京大学地震研究所)	13:30 S06-12 Three-Dimensional Seismic Attenuation Models for Central Nepal *Chintan Timsina ¹ 、James Mori ² 、Masumi Yamada ² (¹ Graduate School of Science, Kyoto University、 ² Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University)
13:45 S15-07 1944年東南海地震の木造倒壊率に基づく不均質震源像の推定 *伊藤 恵理 ¹ 、仲野 健一 ² 、関口 春子 ¹ 、川瀬 博 ¹ (¹ 京都大学防災研究所、 ² 安藤・間技術研究所)	13:45 S23-12 ガウス過程回帰を用いた本震直後における余震分布の推定 *森川 耕輔 ¹ 、長尾 大道 ² 、伊藤 伸一 ² 、寺田 吉吾 ^{1,3} 、酒井 慎一 ² 、平田 直 ^{2,4} (¹ 大阪大学、 ² 東京大学、 ³ 理研、 ⁴ 防災科学技術研究所)	13:45 S09-13 長野県西部地域で発生したM3.7の地震の前震活動とその発生要因について *野田 雄貴 ¹ 、片尾 浩 ² 、飯尾 能久 ² (¹ 京都大学大学院理学研究科、 ² 京都大学防災研究所)	13:45 S06-13 Extinction in genetic algorithms: application to receiver functions inversion *Admore Phindani MPUANG ^{1,2} 、Takuo SHIBUTANI ² (¹ Graduate School of Science, Kyoto University、 ² Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University)
14:00 S15-08 Estimate of the rupture process of the 2021 off-Fukushima earthquake based on the finite-fault source inversion Inferred from strong motion records *吉田 昌平 ¹ 、津田 健一 ² 、Chen Ji ³ 、Ralph Archuleta ^{3,4} 、佐藤 俊明 ¹ (¹ 大崎総合研究所、 ² 清水建設、 ³ カリフォルニア大学サンタバーバラ校、 ⁴ RJA Ground Motion Analysis, Inc)	14:00 S22-01 地震連続波形画像からの深部低周波微動検出に向けた畳み込みニューラルネットワークの構築 *金子 亮介 ^{1,2} 、長尾 大道 ^{2,1} 、伊藤 伸一 ^{2,1} 、小原 一成 ² 、鶴岡 弘 ² (¹ 東京大学大学院情報理工学系研究科、 ² 東京大学地震研究所)	14:00 S09-14 森吉山の群発地震における地震活動および波形相関の時空間変化 *雨澤 勇太、前田 拓人、小菅 正裕、高野 智也(弘前大学大学院理工学研究科)	14:00 S03-01 東北地方太平洋沖地震の余効変動予測モデルを利用した広域の微小な地殻変動検出 *藤原 智(国土地理院)
14:15 S15-09 女川原子力発電所を対象としたSPGAモデルによる強震動シミュレーション *野津 厚(港湾空港技術研究所)	14:15 S22-02 動的モード分解による地震時系列データの特徴抽出 *菊地 亮太 ¹ 、久保 久彦 ² (¹ 京都大学、 ² 防災科学技術研究所)	14:15 S09-15 2011年東北沖地震後から福島・茨城県境周辺で活発化した地震活動に見られる内陸の繰り返し地震とその原因 *池田 里奈 ¹ 、吉田 圭佑 ¹ 、高橋 諒 ³ 、福島 洋 ² 、松澤 暢 ¹ 、長谷川 昭 ¹ (¹ 東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻、 ² 東北大学災害科学国際研究所、 ³ 気象庁)	14:15 S03-02 能登半島で発生した群発地震と、それに伴ってゆっくりと進行する地殻変動 *田中 優作、寛谷 威(名古屋大学)
14:30 S15-10 MeSO-net観測記録を用いた東京湾直下M7級スラブ内地震の強震動シミュレーション *鈴木 亘、木村 武志、久保 久彦、先名 重樹(防災科学技術研究所)	14:30 S22-03 地震学分野におけるブラックボックス最適化問題へのベイズ最適化の適用:セントロイドモーメントテンソルインバージョンでの例 *久保 久彦 ¹ 、吉田 圭佑 ² 、木村 武志 ¹ (¹ 防災科学技術研究所、 ² 東北大学理学研究科附属地震噴火予知研究観測センター)	14:30 S09-16 鬼界カルデラにおけるDASを用いた地震動、エアガン観測 *中野 優 ¹ 、杉岡 裕子 ² 、荒木 英一郎 ¹ 、中島 倫也 ¹ 、伊藤 亜妃 ¹ 、松本 浩幸 ¹ 、横引 貴史 ¹ 、利根川 貴志 ¹ 、山本 揚二朗 ¹ 、木村 俊則 ¹ 、藤江 剛 ¹ 、田中 聡 ¹ (¹ 海洋研究開発機構海域地震火山部門、 ² 神戸大学海洋底探査センター)	14:30 S03-03 陸上ボアホール歪観測による紀伊半島沖浅部SSEの検出 *板場 智史 ¹ 、太田 和晃 ² 、長谷川 浩 ³ (¹ 産業技術総合研究所、 ² 防災科学技術研究所、 ³ 気象庁)
14:45 S15-11 経験的グリーン関数法に用いる要素地震の破壊伝播効果の補正に関する検討 *金田 惇平 ¹ 、田中 信也 ¹ 、久田 嘉章 ² (¹ 東電設計株式会社、 ² 工学院大学建築学部)	14:45 S22-04 ガウス過程によるCMTデータインバージョンの試み *岡崎 智久 ¹ 、深畑 幸俊 ² (¹ 国研)理化学研究所 革新知能総合研究センター、 ² 京都大学 防災研究所)	14:45 S09-17 噴火や群発活動の誘因かもしれない御嶽山山顶周辺のやや深い地震活動 その1 *山中 佳子(名古屋大学)	14:45 S03-04 継続時間1時間のスロースリップイベント *勝間田 明男 ¹ 、宮岡 一樹 ³ 、露木 貴裕 ⁵ 、板場 智史 ⁴ 、田中 昌之 ⁵ 、伊藤 武男 ⁶ 、高森 昭光 ² 、新谷 昌人 ² (¹ 富士山大学、 ² 東大地震研究所、 ³ 気象庁、 ⁴ 産総研、 ⁵ 気象研究所、 ⁶ 名古屋大学)
#は招待講演			

**ポスター発表 10月14日(木)15:30~17:00 ポスター会場
S03, S06, S09, S13, S15, S19, S21, S22, S23**

S03. 地殻変動・GNSS・重力

S03P-01

PTS解析による地震時の動的な破壊過程から初期余効すべりまでの連続的な推定～2011年東北地方太平洋沖地震の事例～
*田中 優介¹、太田 雄策²、宮崎 真一³(¹東北大学大学院理学研究科、²東北大学大学院理学研究科、³京都大学大学院理学研究科)

S03P-02

2016年熊本地震の断層終端部における地殻変動と重力データから推定した地下の密度構造の詳細
*小林 知勝¹、松尾 功二¹、安藤 亮輔²、中埜 貴元¹(¹国土地理院、²東京大学)

S03P-03

長期的スロースリップ客観検出手法の日向灘への適用
*小林 昭夫(気象研究所地震津波研究部)

S03P-04

アラスカ沈み込み帯における短期的スロースリップイベントの系統的検出
*岡田 悠太郎¹、西村 卓也²(¹京都大学大学院 理学研究科、²京都大学防災研究所)

S03P-05

2018年以降GEONETで検出された南海トラフ沿いの長期的SSE
*小沢 慎三郎、水藤 尚、宗包 浩志(国土交通省国土地理院地理地殻活動研究センター)

S03P-06

GNSS-A海底地殻変動観測アレ「SGO-A」で捉えた東北地方太平洋沖地震後10年間の地震後海底地殻変動
*渡邊 俊一¹、石川 直史¹、中村 優斗¹、横田 裕輔²(¹海上保安庁海洋情報部、²東京大学生産技術研究所)

S03P-07

GNSS-A海底地殻変動観測アレ「SGO-A」による南海トラフプレート境界のすべり欠損レートの変動モニタリング
*石川 直史¹、渡邊 俊一¹、中村 優斗¹、横田 裕輔²(¹海上保安庁海洋情報部、²東京大学生産技術研究所)

S03P-08

数値シミュレーションを用いたGNSS-A海底地殻変動観測における海中音速場の影響評価
*中村 優斗¹、横田 裕輔²、石川 直史¹、渡邊 俊一¹(¹海上保安庁海洋情報部、²東京大学生産技術研究所)

S06. 地殻構造

S06P-01

北海道南東沖・千島海溝周辺での反射法地震探査
*野 徹雄¹、小平 秀一¹、藤江 剛¹、中村 恭之¹、白石 和也¹、三浦 亮¹、山口 寛登^{2,1}、海宝 由佳¹、朴 進午³、孫 岳³、于 凡³、中西 正男⁴、藤本 萌^{5,6}、小林 稜弥⁵(¹海洋研究開発機構、²神戸大、³東京大地球海洋研究所、⁴千葉大理学、⁵千葉大院融合、⁶ハワイ大)

S06P-02

S波スプリットング解析による東北地方の地震波速度異方性測定(4)
*水田 達也¹、岡田 知己¹、Savage Martha²、高木 涼太¹、吉田 圭佑¹、酒井 慎一³、勝俣 啓⁴、大園 真子^{3,4}、小菅 正裕⁵、前田 拓人⁵、山中 佳子⁶、片尾 浩⁷、松島 健⁸、八木原 寛⁹、中山 貴史¹、平原 聡¹、河野 俊夫¹、松澤 暢¹、2011年東北地方太平洋沖地震 緊急観測グループ¹(東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、²Victoria University of Wellington、³東大地震研、⁴北大・理、⁵弘前大・理工、⁶名古屋大・環境、⁷京大防災研、⁸九州大・理、⁹鹿児島大学)

S06P-03

深発地震のSP変換波から推定される首都圏下のフィリピン海プレート構造：丹沢山地から関東平野西域を対象とした予備解析
*吉本 和生(横浜国立大学)

S06P-04

Double-Difference Tomography法を用いた白山火山下の三次元速度構造推定
*三浦 凜¹、平松 良浩²(¹金沢大学大学院自然科学研究科、²金沢大学理工学域地球社会基盤学系大学院自然科学研究科)

S06P-05

潮岬－足摺岬南海トラフにおける稠密反射法探査による構造マッピング
*中村 恭之、海宝 由佳、野 徹雄、白石 和也、藤江 剛、小平 秀一、木村 学、尾鼻 浩一郎、三浦 誠一、仲西 理子(海洋研究開発機構)

S06P-06

南海トラフ海側で沈み込むフィリピン海プレート上に発達する微小正断層群の特徴
*山下 幹也^{1,2}、仲西 理子²、三浦 誠一²、小平 秀一²、金田 義行^{3,2}(¹国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質情報研究部門、²国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、³香川大学)

S06P-07

地震波到来方向の偏りが傾斜する地震波速度不連続面の推定に与える影響
*汐見 勝彦(防災科学技術研究所)

S06P-08

南海トラフ西部周辺におけるランダム速度不均質構造
*高橋 努¹、尾鼻 浩一郎¹、石原 靖¹、三浦 誠一¹、小平 秀一¹、金田 義行²(¹海洋研究開発機構、²香川大学)

S09. 地震活動とその物理

S09P-01

琉球海溝－南海トラフのすべり速度欠損分布と繰り返し地震活動の関係
*橋間 昭徳¹、佐藤 比呂志²、石山 達也²、五十嵐 俊博²(¹海洋研究開発機構、²東京大学地震研究所)

S09P-02

能登半島北東部の群発地震活動
*平松 良浩(金沢大学)

S09P-03

日本の内陸地震の余震数とその継続時間
*本多 泰知、山田 卓司(茨城大学)

S09P-04

和歌山市付近の地震活動と地球潮汐の関連性
*飯塚 ふうな¹、吉田 康宏²(¹札幌管区気象台、²気象研究所)

S09P-05

微動解析に向けた関東東海地震活動観測網アナログ地震計記録の自動デジタル化とスペクトル解析の試み
*松澤 孝紀、武田 哲也(防災科学技術研究所)

S09P-06

日本海溝沿いの地震活動の規模別頻度分布に関する指標値の地域特性とプレート間のすべり現象との比較
*永田 広平、溜測 功史、弘瀬 冬樹、野田 朱美(気象庁気象研究所)

S09P-07

2021年4月トカラ列島近海の群発地震に伴う緊急海底地震観測
*仲谷 幸浩¹、八木原 寛¹、山下 裕亮²、平野 舟一郎¹、中尾 茂¹(¹鹿児島大学南西島孤地震火山観測所、²京都大学防災研究所宮崎観測所)

S09P-08

2016年熊本地震前後の地震活動のパターンについて
*楠城 一嘉^{1,2,3}、井筒 潤⁴、織原 義明⁵、鴨川 仁¹(¹静岡県立大学、²静岡大学、³統計数理研究所、⁴中部大学、⁵東京学芸大学)

S09P-09

富士山直下で起きる低周波地震の研究の序報：Matched Filter法を用いた地震カタログの作成とカタログの性能評価
*楠城 一嘉^{1,2,3}、行竹 洋平⁴(¹静岡県立大学、²統計数理研究所、³静岡大学、⁴東京大学)

S09P-10

函館市付近の浅部低周波地震と通常地震が混在する地震活動：稠密地震観測による震源分布と波形の特徴
*野口 科子¹、笠原 敬二¹、小菅 正裕²、前田 拓人²(¹公財)地震予知総合研究振興会 地震防災調査研究部、²弘前大学 理工学研究科)

S09P-11

東北地方の応力場と発生した地震の断層面との関係(3)
*田上 綾香¹、松野 愛弥¹、岡田 知己¹、酒井 慎一²、大園 真子^{2,3}、勝俣 啓³、小菅 正裕⁴、山中 佳子⁵、片尾 浩⁶、松島 健⁷、八木原 寛⁸、中山 貴史¹、平原 聡¹、河野 俊夫¹、堀 修一郎¹、松澤 暢¹、2011年東北地方太平洋沖地震緊急観測グループ¹(東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター、²東京大学地震研究所、³北海道大学大学院理学研究科附属地震火山研究観測センター、⁴弘前大学理工学研究科、⁵名古屋大学大学院環境学研究科、⁶京都大学防災研究所地震予知研究センター、⁷九州大学大学院理学研究科附属地震火山観測研究センター、⁸鹿児島大学・南西島孤地震火山観測所)

S09P-12

ハッシュ法を用いた類似波形検出手法の性能比較
*高山 裕紀、平野 史朗、川方 裕則(立命館大学)

S09P-13

南海トラフで発生する浅部超低周波地震活動の走向方向の変化の定量解析
*武村 俊介¹、馬場 慧¹、矢部 優²、江本 賢太郎³、汐見 勝彦⁴、松澤 孝紀⁴(¹東京大学地震研究所、²産業総合技術研究所、³東北大学、⁴防災科学技術研究所)

S09P-14

エンベロープ相関と振幅に基づく浅部低周波地震モニタリングシステム
*溜測 功史、小本 曾 仁(気象研究所)

S09P-15

内陸地震の余震活動と断層歪みエネルギー変化
*田中 佐千子(防災科学技術研究所)

S09P-16

直接的先験情報を考慮した長期間地震データの走向方向の推定
*寺川 寿子¹、松浦 充宏²(¹名古屋大学大学院環境学研究科 附属地震火山研究センター、²統計数理研究所)

S09P-17

熊野灘における超低周波地震の時空間分布 —2020年12月から2021年1月の活動—
*山本 揚二郎、有吉 慶介、矢田 修一郎、中野 優、堀 高峰(海洋研究開発機構海域地震火山部門)

S09P-18

沈み込み帯の超巨大地震のalong-dipセグメントの要因
*蓬田 清(北海道大学大学院理学研究院 地球惑星科学部門・地球惑星ダイナミクス分野)

S09P-19

<

10月15日(金) 口頭発表

A会場 (Zoom会議室) 午前 S15. 強震動・地震災害 S16. 地盤構造・地盤変動	B会場 (Zoom会議室) 午前 S08. 地震発生の物理	C会場 (Zoom会議室) 午前 S09. 地震活動とその物理 S17. 津波	D会場 (Zoom会議室) 午前 S03. 地殻変動・GNSS・重力 S11. 地震に伴う諸現象 S02. 地震計測・処理システム
通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)
座長 浅野 公之、長坂 陽介	座長 安藤 亮輔、久保田 達矢	座長 小木曾 仁、山谷 里奈	座長 富田 史章、中村 優斗
9:00 S15-12 地震波トモグラフィーによる九州地方の地殻内不均質構造 *山田 浩二 ¹ 、鳥家 充裕 ¹ 、岡崎 敏 ² (¹ 株)阪神コンサル タツツ、 ² 関西電力)	9:00 S08-01 東北沖地震のすべり分布と応力降下分布：海溝大すべりの 原因的力学的考察 *久保田 達矢、齊藤 竜彦(防災科学技術研究所)	9:00 S09-18 日向灘から南西諸島北部域における地震・超低周波地 震活動の相関 *浅野 陽一(防災科学技術研究所 地震津波火山ネット ワークセンター)	9:00 S03-05 海陸測地観測データにもとづく2011年東北地方太平洋 沖地震直後の余効すべりの時空間的特徴 Maulira Putra ¹ 、*太田 雄策 ¹ 、日野 亮太 ¹ 、飯沼 卓史 ² 、 縣 亮一郎 ² (¹ 東北大学大学院理学研究科地震・噴火 予知研究観測センター、 ² 海洋研究開発機構)
9:15 S15-13 青森県東方沖の地震があぶり出す東北日本と北海道の 減衰構造の違い *菟 楽庵(神戸大・理)	9:15 S08-02 2016年熊本地震震源域における余震活動による非弾性 歪み場・変位場の時間発展について *光岡 郁穂 ¹ 、松本 聡 ² 、湯浅 雄平 ³ (¹ 九州大学大学院 理学部地球惑星科学専攻、 ² 九州大学大学院理学研究 院附属地震火山観測研究センター、 ³ 気象庁)	9:15 S09-19 短周期地震計アレイ観測による深部低周波微動の高速 移動現象 *加藤 愛太郎、竹尾 明子、小原 一成(東京大学地震研 究所)	9:15 S03-06 2020年12月から2021年1月にかけて発生した熊野灘に おけるスロースリップイベントの時空間発展 *飯沼 卓史 ¹ 、荒木 英一郎 ¹ 、縣 亮一郎 ¹ 、山本 揚二郎 ¹ 、 木村 俊則 ¹ 、町田 祐弥 ¹ 、有吉 慶介 ¹ 、市村 強 ² 、堀 高 峰 ¹ 、小平 秀一 ¹ (¹ 国立研究開発法人海洋研究開発機 構、 ² 東京大学地震研究所)
9:30 S15-14 函館平野三次元速度構造モデルによる長周期地震動増 幅特性 *浅野 公之 ¹ 、岩田 知孝 ¹ 、吉田 邦一 ² 、井上 直人 ² 、染 井 一寛 ² 、宮腰 研 ² 、大堀 道広 ³ (¹ 京都大学防災研究 所、 ² 一般財団法人地域地盤環境研究所、 ³ 福井大学附 属国際原子力工学研究所)	9:30 S08-03 2016年鳥取県中部地震の破壊を止めた応力緩和 *飯尾 能久 ¹ 、松本 聡 ² 、京大防災研九大東大地震研 鳥 取県中部地震余震観測班(¹ 京都大学防災研究所、 ² 九 州大学大学院理学研究院地震火山観測研究センター)	9:30 S09-20 地震波振幅の空間分布から推定した紀伊半島南東沖で 発生する浅部低周波微動の時空間分布: 2020年12月か ら2021年1月 *小木曾 仁、溜瀧 功史(気象研究所地震津波研究部)	9:30 S03-07 長期海底設置用水圧計を用いた伊豆大島東方沖におけ る連続地殻変動観測 *町田 祐弥、西田 周平、松本 浩幸、荒木 英一郎(海洋 研究開発機構)
9:45 S15-15 地震波干渉法理論に基づく強震記録のレーンパー関数 と自己相関関数の同時解析による地盤構造の推定 *地元 孝輔(香川大学)	9:45 S08-04 なぜ2016年Kaikoura地震でHope断層は運動破壊しな かったのか? *安藤 亮輔 ¹ 、金子 善宏 ² 、Andy Howell ^{1,4,3} 、Nicol Andy ⁴ 、Langridge Robert ³ 、Hamling Ian ³ (¹ 東京 大学 理学系研究科 地球惑星科学専攻、 ² 京都大学 理学研究科 地球惑星科学専攻、 ³ GNS Science、 ⁴ Canterbury University)	9:45 S09-21 深部低周波微動から検出された2次のスリップフロントの 特徴 *前田 拓也 ¹ 、小原 一成 ¹ 、竹尾 明子 ¹ 、松澤 孝紀 ² 、田 中 優作 ³ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 防災科学技術研 究所、 ³ 名古屋大学大学院環境学研究科附属 地震火 山研究センター)	9:45 S03-08 DONET観測網に記録された海底圧力を用いた南海地 域におけるSSE検出手法の適用 *井上 智裕 ¹ 、伊藤 喜宏 ² 、久保田 達矢 ³ 、汐見 勝彦 ³ 、 太田 和晃 ³ (¹ 京都大学大学院 理学研究科 地球惑星 科学専攻、 ² 京都大学防災研究所、 ³ 国立研究開発法人 防災科学技術研究所)
10:00 S16-01 地震波干渉法の適用条件に関する一考察 *長坂 陽介、野津 厚(港湾空港技術研究所)	10:00 S08-05 準動的地震シミュレーションを用いた中央 構造線断層帯の運動破壊過程の解明 *村松 和紀、小澤 創、安藤 亮輔(東京大学大学院理学 系研究科地球惑星科学専攻)	10:00 S09-22 DONETデータを用いた南海トラフ浅部微動の網羅的検出 *太田 和晃(国立研究開発法人防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター)	10:00 S03-09 ウェーブガイドを用いたGNSS-A海底地殻変動観測 と近年の東北沖での海底地殻変動の傾向 *富田 史章 ^{1,2} 、飯沼 卓史 ² 、木戸 元之 ¹ 、本荘 千枝 ³ 、 太田 雄策 ³ 、福田 達也 ² (¹ 東北大学災害科学国際研 究所、 ² 海洋研究開発機構、 ³ 東北大学大学院理学研究 科)
10:15 S16-02 2016年11月22日福島県沖の地震(M7.4)により福島県 東部で観測されたやや長周期の後続波群 *植竹 富一(東京電力ホールディングス株)	10:15 S08-06 階層パッチ構造をもつ動的破壊シミュレーションを用いた 地震の震源パラメータのスケール法則の検証 *増田 和貴、金子 善宏(京都大学理学研究科)	10:15 S09-23 Centroid moment tensor inversion using dense array of short-period OBSs at off Ibaraki region *山谷 里奈、望月 公廣、惠原 岳、武村 俊介(東京大学 地震研究所)	10:15 S03-10 GNSS-A海底地殻変動観測に影響を与える傾斜場の時 間安定性と観測精度 *横田 裕輔 ¹ 、渡邊 俊一 ² 、石川 直史 ² 、中村 優斗 ² (¹ 東 京大学 生産技術研究所、 ² 海上保安庁海洋情報部)
10:30 休憩	10:30 休憩	10:30 休憩	10:30 休憩
座長 林田 拓己、吉田 邦一	座長 野田 朱美、今西 和俊	座長 東 龍介、馬場 慧	座長 中川 茂樹、岡田 知己
11:00 S16-03 奈良市三条本町NB-1ボーリングにおける速度構造調査 *岩田 知孝 ¹ 、山田 浩二 ² 、澤田 基貴 ² 、石原 大亮 ² 、岡 本 茂 ² (¹ 京都大学防災研究所、 ² ㈱阪神コンサルタツツ)	11:00 S08-07 南海トラフの力学的固着：プレート境界地震の連鎖的な 発生と余効すべり *齊藤 竜彦 ¹ 、野田 朱美 ² (¹ 防災科学技術研究所、 ² 気 象研究所)	11:00 S09-24 海底余震観測記録の再解析による2003年十勝沖地震 (M8.0) 直後の低周波微動活動 *川久保 晋 ¹ 、東 龍介 ¹ 、日野 亮太 ¹ 、高橋 秀輔 ² 、太田 和晃 ³ 、篠原 雅尚 ⁴ (¹ 東北大学大学院、 ² 電力中央研究 所、 ³ 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ⁴ 東京大学 地震研究所)	11:00 S11-01 2003年十勝沖地震に伴う混濁流に関する再考察 *岩瀬 良一(海洋研究開発機構)
11:15 S16-04 MeSO-net観測記録データトラフィックにみる2020年の 首都圏における常時微動レベル低下と要因検証 *林田 拓己 ¹ 、吉見 雅行 ² 、鈴木 晴彦 ³ 、森 伸一郎 ⁴ 、香 川 敬生 ⁵ 、山田 雅行 ⁶ 、一井 康二 ⁷ (¹ 建築研究所、 ² 産業 技術総合研究所、 ³ 応用地質株式会社、 ⁴ 愛媛大学、 ⁵ 鳥 取大学、 ⁶ 株式会社ニュージェック、 ⁷ 関西大学)	11:15 S08-08 オフフォルト地震と地殻変動データをを用いた新手法による 東北沖プレート間固着の詳細な時空間変動の推定 *今西 和俊 ¹ 、野田 朱美 ² (¹ 産業技術総合研究所 活断 層・火山研究部門、 ² 気象研究所)	11:15 S09-25 広帯域海底地震計とS-netで捉えられた日本・千島海溝 会合部に沈み込む海山近傍の地震活動 *東 龍介 ¹ 、川久保 晋 ¹ 、高橋 秀輔 ³ 、太田 雄策 ¹ 、高木 涼太 ¹ 、鈴木 秀市 ¹ 、佐藤 真樹子 ¹ 、日野 亮太 ¹ 、田中 伸 一 ² 、篠原 雅尚 ² (¹ 東北大学大学院理学研究科附属地 震・噴火予知研究観測センター、 ² 東京大学地震研究 所、 ³ 電力中央研究所)	11:15 S02-01 水中スピーカーを用いた反射法地震探査における振源 の機械特性に関する検討 *高中 一希、黒澤 礼真、鶴 哲郎(東京海洋大学大学院)
11:30 S16-05 微動アレー記録をもとに求めた回転成分から推定した和 歌山平野におけるラブ位相速度 *吉田 邦一 ¹ 、上林 宏敏 ² 、大堀 道広 ³ (¹ 一財)地域 地 盤 環境 研究所、 ² 京都大学、 ³ 福井大学)	11:30 S08-09 東北日本の応力場の時空間変化によって引き起こされる 火山深部低周波地震 *及川 元己、麻生 尚文、中島 淳一(東京工業大学理学 院地球惑星科学系)	11:30 S09-26 日本周辺の超低周波地震活動における時間変化の特徴 の定量化 *馬場 慧、小原 一成、武村 俊介、竹尾 明子、栗原 亮 (東京大学地震研究所)	11:30 S02-02 海底面での機動的傾斜観測実現に向けた房総半島沖での 長期試験観測2 *塩原 肇 ¹ 、佐藤 利典 ² 、金 慧貞 ¹ 、川野 由貴 ¹ 、永井 は るか ¹ 、伊藤 亜妃 ³ 、篠原 雅尚 ¹ 、杉岡 裕子 ⁴ (¹ 東京大学 地震研究所、 ² 千葉大学大学院 理学研究院、 ³ 海洋研 究開発機構 海域地震火山部門、 ⁴ 神戸大学 海洋底 探査センター)
11:45 S16-06 表面波分離の基礎的検討と関東平野内の長周期地震動 への適用 *佐藤 拓也 ¹ 、上林 宏敏 ² 、永野 正行 ¹ (¹ 東京理科大学、 ² 京都大学)	11:45 S08-10 2017年長野県南部の地震(Mj5.6)の断層近傍における 応力場推定 *野木 ひかり ¹ 、飯尾 能久 ² 、澤田 麻沙代 ² 、冨坂 和秀 ² (¹ 京都大学大学院理学研究科、 ² 京都大学防災研究所)	11:45 S09-27 海底地震観測による日本海溝中部アウターライズ域のM6 クラス正断層地震の震源断層形状 *尾島 浩一郎、高橋 努、山本 揚二郎、中村 恭之、藤江 剛、三浦 誠一、小平 秀一(海洋研究開発機構)	11:45 S02-03 短周期地震波を用いて定常地震観測網はどこまで小さ い斜面崩壊を検知できるか? *土井 一生 ¹ 、前田 拓人 ² 、加藤 愛太郎 ³ 、武田 哲也 ⁴ 、 村尾 英彦 ⁵ (¹ 京都大学防災研究所、 ² 弘前大学理工学 研究科、 ³ 東京大学地震研究所、 ⁴ 防災科学技術研究 所、 ⁵ (株)村尾地研)
12:00 S16-07 Equivalent linear method with complex frequency for site response analyses to near-fault fling-step displacements *呉 双蘭、野津 厚、長坂 陽介(港湾空港技術研究所 地 震防災研究領域 地震動研究グループ)	12:00 S08-11 測地データと地震データを併用した非弾性変形の解析： 新潟神戸変形集中帯への適用 *野田 朱美 ¹ 、齊藤 竜彦 ² (¹ 気象庁気象研究所、 ² 防災 科学技術研究所)	12:00 S17-01 海溝外側で発生する正断層型の大地震とその余震活動 との関係について *浜田 信生(なし)	12:00 S02-04 マルチプラットフォーム次世代WINシステムの開発(1) *中川 茂樹 ¹ 、青山 裕 ² 、高橋 浩晃 ² 、前田 拓人 ³ 、内田 直希 ⁴ 、山本 希 ⁴ 、大竹 和生 ⁵ 、鶴岡 弘 ¹ 、青木 陽介 ¹ 、 前田 裕太 ⁶ 、大見 士朗 ¹ 、中道 治久 ⁷ 、大久保 慎人 ⁸ 、 松島 健 ⁹ 、八木原 寛 ¹⁰ 、汐見 勝彦 ¹¹ 、植平 賢司 ¹¹ 、上 田 英樹 ¹¹ 、宮岡 一樹 ¹² 、溜瀧 功史 ¹³ 、本多 亮 ¹⁴ 、関根 秀太郎 ¹⁵ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 北海道大学、 ³ 弘前 大学、 ⁴ 東北大学、 ⁵ 東京大学システムデザイン研究セン ター、 ⁶ 名古屋大学、 ⁷ 京都大学、 ⁸ 高知大学、 ⁹ 九州大学、 ¹⁰ 鹿児島大学、 ¹¹ 防災科学技術研究所、 ¹² 気象庁、 ¹³ 気 象研究所、 ¹⁴ 神奈川県温泉地学研究所、 ¹⁵ 地震予知総 合研究振興会)
A会場 (Zoom会議室) 午後 S04. テクトニクス	B会場 (Zoom会議室) 午後 S08. 地震発生の物理	C会場 (Zoom会議室) 午後 S17. 津波	D会場 (Zoom会議室) 午後 S02. 地震計測・処理システム S14. 地震予知・予測
通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)
座長 中尾 篤史、米島 慎二	座長 鈴木 岳人、中島 淳一	座長 馬場 俊孝、楠本 聡	座長 S02.片上 智史／S14.瀬瀬 冬樹
13:30 S04-01 北陸地方下のフリピン海プレート形状を探る *宮崎 一希 ¹ 、中島 淳一 ¹ 、末永 伸明 ² 、吉岡 祥一 ^{2,3} (¹ 東京工業大学理学院地球惑星科学系、 ² 神戸大学都市 安全研究センター、 ³ 神戸大学大学院理学研究科)	13:30 S08-12 繰り返し地震と非地震性すべり：地震発生メカニズムの統 一的理解 *中島 淳一 ¹ 、長谷川 昭 ² (¹ 東京工業大学理学院地球 惑星科学系、 ² 東北大学大学院理学研究科)	13:30 S17-02 津波浸水計算におけるwet/dry境界の新しい計算法 *南 雅晃(気象庁気象研究所地震津波研究部)	13:30 S02-05 長距離光ファイバDASによる海底地震観測 *松本 浩幸 ¹ 、荒木 英一郎 ¹ 、横引 貴史 ¹ 、岸田 欣增 ² 、 東 大治 ² (¹ 国立研究開発法人海洋研究開発機構、 ² ニューブレクス株式会社)
13:45 S04-02 微小地震震源アレー解析及びOBSアレー解析から見えて きた茨城沖におけるサイズモテクトニクス *米島 慎二、望月 公廣(東京大学地震研究所 地震予 知研究センター)	13:45 S08-13 地震滑りとスロースリップとを繋ぐ遷移領域滑りの検出 *深尾 良夫 ¹ 、久保田 達也 ² 、杉岡 裕子 ³ 、伊藤 亜妃 ¹ 、 利根川 貴志 ¹ 、塩原 肇 ⁴ 、山下 幹也 ⁵ 、齊藤 竜彦 ² (¹ 海 洋研究開発機構、 ² 防災科学研究所、 ³ 神戸大学、 ⁴ 東 京大学、 ⁵ 産業技術総合研究所)	13:45 S17-03 南海トラフの津波ハザードカーブと歴史津波の超過頻度 の比較 *馬場 俊孝 ¹ 、山中 亮一 ² 、藤原 広行 ³ (¹ 徳島大学大学 院 社会産業理工学研究部 社会基盤デザイン系、 ² 徳島 大学環境防災研究センター、 ³ 防災科学技術研究所)	13:45 S02-06 DASにおける長周期観測ノイズの低減手法 *荒木 英一郎、横引 貴史(海洋研究開発機構 海域地 震火山部門)
14:00 S04-03 Cascadia沈み込み帯の3次元異方性構造 *趙 大鵬、Hua Y.(東北大学大学院理学研究科 地震・ 噴火予知研究観測センター)	14:00 S08-14 2016年チャマン断層の中規模地震に伴う一年以上続く 地震後滑り：地震時滑りとの非相補性 *古屋 正人 ¹ 、松本 史子 ² (¹ 北海道大学 大学院理学研 究院 地球惑星科学部門 地球惑星ダイナミクス分野、 ² (株)パスコ)	14:00 S17-04 地殻変動および津波痕跡高の分布に基づく1854年安政 東海地震の波源断層モデル *今井 健太郎 ¹ 、楠本 聡 ¹ 、堀 高峰 ¹ 、高橋 成実 ^{2,1} 、古村 孝志 ³ (¹ 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、 ² 防災 科学技術研究所、 ³ 東京大学地震研究所)	14:00 S02-07 豊橋沖海底ケーブルを用いた長期間DAS観測 *木村 俊則 ¹ 、荒木 英一郎 ¹ 、横引 貴史 ¹ 、山岡 耕春 ² 、 辻 修平 ² 、渡辺 俊樹 ² (¹ 海洋研究開発機構 海域地震 火山部門、 ² 地震津波予測研究開発センター、 ² 名古屋 大学大学院 環境学研究科附属 地震火山研究セン ター)
14:15 S04-04 地震の最大マグニチュードと沈み込み帯パラメタを関係 づける回帰分析 *中尾 篤史 ¹ 、桑谷 立 ¹ 、上木 賢太 ¹ 、吉田 健太 ¹ 、油谷 拓 ¹ 、日野 英造 ² 、赤穂 昭太郎 ³ (¹ 海洋研究開発機構 海 域地震火山部門、 ² 統計数理研究所 モデリング研究系、 ³ 産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究 部門)	14:15 S08-15 固着域を伝播する非地震性すべりの伝播速度 *加藤 尚之(東京大学地震研究所)	14:15 S17-05 静岡県南伊豆町入間における安政東海地震の津波堆積 物 *楠本 聡 ¹ 、今井 健太郎 ¹ 、堀 高峰 ¹ 、菅原 大助 ² (¹ 海洋 研究開発機構、 ² 東北大学)	14:15 S14-01 発生年不確定の繰り返し地震Brownian Passage Time モデルへの重み付き尤度法の適用と最尤推定値解析解 *井元 政二郎、森川 信之、藤原 広行(防災科学技術研 究所)
14:30 S04-05 大地震による火山噴火誘発のメカニズム *西村 太志(東北大学大学院理学研究科地球物理学専 攻)	14:30 S08-16 黒潮大蛇行がスロースリップイベントに及ぼす影響：孔内 とDONETの観測データの統合解析 *有吉 慶介 ¹ 、木村 俊則 ¹ 、宮澤 泰正 ¹ 、ヴァーラモフ セ ルゲイ ¹ 、飯沼 卓史 ¹ 、永野 憲 ¹ 、コンバーグ ジョアン ^{2,3} 、 荒木 英一郎 ¹ 、美山 遼 ¹ 、末木 健太郎 ¹ 、矢田 修一郎 ¹ 、 堀 高峰 ¹ 、高橋 成実 ⁴ 、小平 秀一 ¹ (¹ 海洋研究開発機 構、 ² 米国地質調査所、 ³ ワシントン大学、 ⁴ 防災科学技術 研究所)	14:30 S17-06 S-net海底水圧記録を用いたバックプロジェクション法に よる津波波源の推定 *水谷 歩 ¹ 、蓬田 清 ² (¹ 北海道大学理学院 自然史科学 専攻 地球惑星ダイナミクス講座、 ² 北海道大学理学研究 院 地球惑星科学部門 地球惑星ダイナミクス分野)	14:30 S14-02 GNSSデータを用いた内陸地震長期発生確率の試算 *西村 卓也(京都大学防災研究所)
	14:45 S08-17 2種類の滑り伝播端形状に対する伝播速度の存在条件 とその物理的解釈 *鈴木 岳人(青山学院大学理工学部 物理科学科)	14:45 S17-07 Interaction of tsunamis generated by successive Mw 7.4 and Mw 8.1 earthquakes on Kermadec Islands on March 4, 2021 *王 宇晨 ^{1,2} 、HEIDARZADEH Mohammad ³ 、佐 竹 健治 ¹ 、今井 健太郎 ² 、堀 高峰 ² 、胡 桂 ⁴ (¹ 東京大 学地震研究所、 ² 海洋研究開発機構、 ³ Department of Civil & Environmental Engineering, Brunel University London、 ⁴ School of Earth Sciences and Engineering, Sun Yat-Sen University)	14:45 S14-03 時空間的な非一様性を有する広域の地震カタログに対す るHIST-ETASモデルの修正推定 *尾形 良彦、桂 康一(統計数理研究所)

#は招待講演

ポスター発表　10月15日(金)15:30～17:00　ポスター会場
S01P, S02P, S04P, S07P, S08P, S10P, S12P, S14P, S16P, S17P

S01. 地震の理論・解析法	S08. 地震発生の物理	S14. 地震予知・予測
S01P-01 沈み込む海洋性地殻内部を伝播するガイド波の数値シミュレーション *城戸口 和希 ¹ 、河原 純 ¹ 、椎名 高裕 ² (¹ 茨城大学大学院理工学研究科、 ² 産業技術総合研究所地質調査総合センター)	S08P-01 2016年熊本地震の相似地震 *森 絵万奈 ¹ 、平松 良浩 ² (¹ 金沢大学大学院自然科学研究科、 ² 金沢大学理工研究域地球社会基盤学系)	S14P-01 背景地震活動の地球潮汐相関情報に基づく地震予測モデルの効率：トンガ・ケルマディック海溝沿いのプレート境界型大地震に対して *弘瀬 冬樹 ¹ 、前田 憲二 ² 、上垣内 修 ³ (¹ 気象研究所　地震津波研究部、 ² 気象庁地震火山部、 ³ 気象業務支援センター)
S01P-02 Passive-source reverse-time migrationに基づく 海洋スラブのイメージング数値実験 *古村 孝志(東京大学地震研究所)	S08P-02 日本列島内陸域の通常地震と低周波地震の震源スペクトルの形状の推定 *織茂 雅希 ¹ 、吉田 圭佑 ¹ 、平 貴昭 ² 、松澤 暢 ¹ 、長谷川 昭 ¹ 、江本 賢太郎 ³ (¹ 東北大学理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター、 ² カリフォルニア大学バークレイ校地震研究所、 ³ 東北大学理学研究科地球物理学専攻固体地球物理学講座)	S14P-02 静岡県西部地域の地下水温変化と地震活動 *上久保 廣信(浜松市立北星中学校)
S01P-03 水平成層構造での海面～海中における水中音響波形計算—海水層による増幅・減幅の影響評価— *中村 武史 ¹ 、竹中 博士 ² (¹ 電力中央研究所、 ² 岡山大学)	S08P-03 ニュージーランド北島ラウクマラ半島周辺で発生するプレート境界地震の震源パラメータの特徴 *立岩 和也 ¹ 、Chamberlain Calum ² 、Savage Martha ² 、岡田 知己 ¹ (¹ 東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻、 ² ヴィクトリア大学ウェリントン)	S16. 地盤構造・地盤震動
S01P-04 海底地震計記録へ適用可能な近地地震向けMigration-baseの震源決定法開発 *米島 慎二、望月 公廣(東京大学地震研究所 地震予知研究センター)	S08P-04 伊豆半島東方沖の2006年群発地震活動で発生した火山構造性地震の震源過程解析 *田中 夕香子、山田 卓司(茨城大学)	S16P-01 国道4号線沿いのDAS観測により捉えられた移動車両が励起する表面波を直接利用した浅部S波速度構造の推定 *矢武 克啓、中原 恒、江本 賢太郎、西村 太志(東北大学大学院理学研究科　地球物理学専攻 固体地球物理学講座)
S01P-05 東北地方太平洋沖地震震源域の波形トモグラフィーに向けた波動場の検討 *岡元 太郎 ¹ 、竹中 博士 ² 、中村 武史 ³ (¹ 東京工業大学 理学院 地球惑星科学系、 ² 岡山大学 学術研究院自然科学学域、 ³ 電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部 地質・地下環境研究部門)	S08P-05 震源域直上の海底水圧計記録に基づく2011年東北地震の地震波放射過程に関する考察 *久保 久彦、久保田 達矢、齊藤 竜彦(防災科学技術研究所)	S16P-03 1943年鳥取地震による地震断層近傍における微動探査—鳥取市宮谷・大塚地区— *野口 竜也 ¹ 、蘆田 龍 ¹ 、小林 和生 ² 、西村 武 ³ 、吉川 菜緒 ¹ 、香川 敬生 ¹ (¹ 鳥取大学工学部社会システム土木系学科、 ² (株)荒谷建設コンサルタント、 ³ 鳥取大学大学院工学研究科)
S01P-06 日本列島における脈動実体波のp-s変換波の抽出 *加藤 翔太、西田 究(東京大学地震研究所　数理系研究部門)	S08P-06 Initiation of the M-9 earthquake cycle: the 2021 Miyagi-Oki Mw7.0 earthquake at the deep seismic/aseismic transition *吉田 圭佑、松澤 暢、内田 直希(東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター)	S16P-04 高知平野の表層地盤の数値モデル高精度化のための地盤震動観測 *山田 伸之(高知大学)
S01P-07 環状断層を持つカルデラ火山における鉛直CLVD型のモーメントテンソル解の解釈— シェラネグラ火山とキラウエア火山を例に *三反畑 修 ^{1,2} 、金森 博雄 ³ 、Rivera Luis ⁴ 、Zhan Zhongwen ³ 、佐竹 健治 ⁵ 、綿田 辰吾 ⁵ 、Lai Voon Hui ⁶ (¹ 防災科学技術研究所、 ² 日本学術振興会特別研究員(PD)、 ³ カリフォルニア工科大学、 ⁴ ストラスブール大学地球物理研究所、 ⁵ 東京大学地震研究所、 ⁶ オーストラリア国立大学)	S08P-07 2011年東北地方太平洋沖地震後の宮城県沖地震の準備過程 *中田 令子、日野 亮太(東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター)	S16P-05 山梨地方における浅部・深部統合地盤構造モデルの構築 *先名 重樹 ¹ 、若井 淳 ¹ 、佐藤 将 ² 、谷田貝 淳 ² 、松山 尚典 ² 、藤原 広行 ¹ (¹ 国立研究開発法人防災科学技術研究所　マルチハザード評価研究部門、 ² 応用地質)
S01P-08 MCMCによる地震波鉛直異方向性パラメタの観測可能性の検証と火山直下の互層構造の再現 *丸山 純平 ¹ 、川勝 均 ¹ 、竹内 希 ¹ (¹ 東京大学地震研究所 半球観測研究センター)	S08P-08 動力学的震源モデルに基づく中央構造線断層帯の連動性の検討 *加瀬 祐子、浦田 優美((国研)産業技術総合研究所)	S16P-06 常時微動H/Vによる薩摩硫黄島におけるカルデラ境界探索の試み *山田 雅行 ¹ 、伊藤 佳洋 ¹ 、長坂 陽介 ² 、野津 厚 ² 、長尾 毅 ³ 、大岩根 尚 ⁴ (¹ (株)ニュージェック、 ² 港湾空港技術研究所、 ³ 神戸大学、 ⁴ 合同会社むすび)
S01P-09 ベイズ統計を用いた震源決定法に対する3次元走時計算適用の検討 *近藤 優子 ¹ 、杉岡 裕子 ¹ 、大林 政行 ² (¹ 国立大学法人神戸大学、 ² 国立研究開発法人海洋研究開発機構)	S08P-09 線形多孔質弾性体中の動的地震サイクルシミュレーション *野田 博之(京都大学 防災研究所)	S16P-07 中央構造線三野断層の断層破砕帯での動的変形特性 *香川 敬生 ¹ 、木村 一成 ² (¹ 鳥取大学 工学部 社会システム土木系学科、 ² (株)ナイバ愛媛支店)
S01P-10 球対称地球自由振動モード計算のためのSymplectic数値積分法 *綿田 辰吾(東京大学地震研究所 地球計測系研究部門)	S08P-10 粘弾性媒質中の地震サイクルにおける断層強度不均質による影響 *山本 誠、野田 博之(京都大学)	S16P-08 大規模盛土造成地における微動探査を用いた地盤震動特性の把握 —鳥取市北園の事例— *西村 武 ¹ 、西村 菜沙 ² 、野口 竜也 ² 、香川 敬生 ² (¹ 鳥取大学大学院 工学研究科 博士後期課程 社会基盤工学専攻、 ² 鳥取大学 工学部 社会システム土木系学科)
S02. 地震計測・処理システム	S08P-12 格子H行列を用いた3次元非平面断層の大規模地震サイクルシミュレーション *小澤 創 ¹ 、伊田 明弘 ² 、星野 哲也 ³ 、安藤 亮輔 ¹ (¹ 東京大学理理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 海洋研究開発機構、 ³ 東京大学情報基盤センター)	S16P-09 地震波干渉法に基づくデコンボリューション波形に関する基礎的検討 *仲野 健一 ¹ 、上林 宏敏 ² (¹ 株式会社 安藤・間、 ² 京都大学)
S02P-01 最短経路法を走時計算に適用した3次元速度構造での震源決定 *関口 渉次(防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター)	S08P-13 プレートの沈み込みに伴う温度圧力条件の変化および粘土鉱物の脱水を考慮した水理学的モデルに基づく間隙水圧の定常解 *金木 俊也、野田 博之(京都大学防災研究所)	S16P-10 3次元地震動シミュレーションおよびコヒーレンスモデルに基づく隣接地点間の地震動の空間変動特性評価 *徳光 亮一 ¹ 、山本 優 ¹ 、内山 泰生 ¹ 、大野 晋 ² (¹ 大成建設、 ² 東北大学)
S02P-02 S-netを用いたセントロイドモーメントテンソル解析の検討 *木村 尚紀、浅野 陽一(防災科学技術研究所)	S08P-14 房総沖スロースリップのすべりと応力変化を用いたすべりと時間に依存する摩擦構成則のパラメータの推定 *内田 礼央 ¹ 、佐藤 利典 ¹ 、小林 琢磨 ^{1,2} (¹ 千葉大学、 ² アジア航測)	S16P-11 SITES法によるスマート断層の断層面推定(2) *山品 匡史 ¹ 、大久保 慎人 ¹ 、田部井 隆雄 ¹ 、UMAR Muksin ² 、ISMAIL Nazli ² (¹ 高知大学、 ² Syiah Kuala 大学)
S02P-03 MQTTプロトコルを用いたWINシステム用リアルタイム表示システムの開発 *鶴岡 弘(東京大学地震研究所)	S08P-15 スロースリップのすべり速度と剪断応力変化を用いた有効法線応力の推定 *佐藤 利典 ¹ 、小林 琢磨 ^{1,2} (¹ 千葉大学大学院理学院、 ² アジア航測(株))	S17. 津波
S02P-04 東北地方中南部における地震活動(序報) *岡田 知己 ¹ 、中山 貴史 ¹ 、平原 聡 ¹ 、堀内 茂木 ⁹ 、勝保 啓 ² 、大園 真子 ^{2,4} 、小菅 正裕 ³ 、前田 拓人 ³ 、山中 佳子 ⁵ 、片尾 浩 ⁶ 、松島 健 ⁷ 、八木原 寛 ⁸ 、2011年東北地方太平洋沖地震緊急観測 グループ(¹ 東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター、 ² 北海道大学、 ³ 弘前大学、 ⁴ 東京大学地震研究所、 ⁵ 名古屋大学、 ⁶ 京都大学防災研究所、 ⁷ 九州大学、 ⁸ 鹿児島大学、 ⁹ ホームサイズモ)	S08P-16 センチメートルスケールにおける変はんれい岩ガウジの摩擦特性 —岩石摩擦特性のスケール依存性解明に向けて— *山下 太 ¹ 、溝口 一生 ² 、飯塚 幸子 ³ (¹ 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ² 一般財団法人電力中央研究所、 ³ 株式会社セレス)	S17P-01 地震をトリガーとする地すべりに起因する津波の確率論的評価手法に関する基礎的検討 *木場 正信 ¹ 、土屋 悟 ² 、木村 達人 ³ 、松山 昌史 ⁴ 、加藤 勝秀 ⁵ (¹ エングローブコンサルタント、 ² ユニック、 ³ 東電設計、 ⁴ 電力中央研究所、 ⁵ 中部電力)
S02P-05 低周波数サンプリングの加速度記録に適用可能なリアルタイム震度演算法 *平井 敬 ¹ 、吉岡 優樹 ² (¹ 名古屋大学減災連携研究センター、 ² 名古屋大学大学院環境学研究科)	S08P-17 波動伝播シミュレーションを用いた4m二軸岩石摩擦試験機におけるAEセンサキャリブレーション *大久保 蔵馬 ¹ 、山下 太 ¹ 、福山 英— ^{2,1} (¹ 防災科学技術研究所、 ² 京都大学大学院工学研究科)	S17P-02 異なる最適化手法を用いた津波データベース型津波浸水予測 *上谷 政人 ¹ 、馬場 俊孝 ² (¹ 徳島大学大学院創成科学研究科理工学専攻、 ² 徳島大学大学院産業理工学研究部)
S02P-06 三陸沖における海底光ケーブルとDistributed Acoustic Sensingを用いた反射法地震探査 *高野 洋輝 ¹ 、篠原 雅尚 ² 、仲田 理映 ² 、蔵下 英司 ² 、石山 達也 ² 、望月 公廣 ² (¹ 東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 東京大学地震研究所)	S08P-18 大型載荷速度変化摩擦試験によって形成されたガウジ層の微細構造 *渡辺 俊 ¹ 、山下 太 ² 、前田 純伶 ² 、下田 晃嘉 ³ 、福山 英— ^{1,2} (¹ 京都大学、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ³ 日本生命保険相互会社)	S17P-03 四国沖土佐ばえ北部の海底地すべりを仮定した非静水圧効果有の二層流モデル津波計算 *黒住 将弘、馬場 俊孝(徳島大学)
S02P-07 DAS地震動記録を用いた海底光ファイバケーブルの敷設環境推定 *片上 智史 ¹ 、荒木 英一郎 ² 、高橋 成実 ³ 、野田 俊太 ¹ 、岩田 直泰 ¹ 、是永 将宏 ¹ 、山内 泰知 ¹ (¹ 鉄道総合技術研究所、 ² 海洋研究開発機構、 ³ 防災科学技術研究所)	S08P-19 仕事率の増加と鏡面の生成・破壊にともなうインド砂岩の摩擦・摩耗率の変動 *前田 純伶 ¹ 、山下 太 ¹ 、大久保 蔵馬 ¹ 、福山 英— ^{1,2} (¹ (国研)防災科学技術研究所、 ² 京都大学)	S17P-04 南海トラフ沿いで発生する海底地すべりによる津波励起の特徴に関する予察 *今井 健太郎 ¹ 、中村 恭之 ¹ 、富士原 敏也 ¹ 、谷岡 勇市郎 ² (¹ 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、 ² 北海道大学 大学院理学研究院)
S04. テクニクス	S08P-20 Existence of Weak Zones: Enhancing Dynamic Rupture or Not? *上西 幸司 ^{1,2} 、長沢 国洋 ² (¹ 東京大学大学院新領域創成科学研究科、 ² 東京大学大学院工学系研究科)	S17P-05 2006 年及び 2007 年千島列島沖地震津波の減衰過程 *赤井 啓嗣 ¹ 、新本 直子 ² 、馬場 俊孝 ¹ (¹ 徳島大学大学院、 ² 徳島大学)
S04P-01 アラスカ沈み込み帯における深部低周波微動と3次元温度構造・脱水分布との関連性 *岩本 佳耶 ¹ 、末永 伸明 ² 、吉岡 祥— ^{2,1} (¹ 神戸大学大学院　理学研究科 惑星学専攻、 ² 神戸大学都市安全研究センター)	S08P-21 On the Dynamic Stability of a Granular Slope *上西 幸司、喜 東昀(東京大学大学院新領域創成科学研究科)	S17P-06 1952年カムチャツカ地震における顕著な津波後続波 *対馬 弘晃、山本 剛靖(気象庁気象研究所)
S07. 地球及び惑星の内部構造と物性	S08P-22 M5.5地震震生場と母岩から回収したコア試料の物理特性 *阪口 賢祐 ¹ 、吉田 峻輔 ² 、東 充也 ³ 、横山 友輝 ⁴ 、鈴木 皓一郎 ¹ 、矢部 康男 ⁵ 、Ligaraba Dakalo ⁶ 、Masondo Nandipha ⁶ 、廣野 哲朗 ⁷ 、山本 裕二 ⁸ 、松崎 琢也 ⁸ 、小笠原 宏 ⁹ 、大場 誠也 ⁹ 、藍本 雅也 ⁹ (¹ 立命館大学大学院、 ² 独立行政法人地質院、 ³ マツダ株式会社、 ⁴ 株式会社テクノプロ、 ⁵ 東北大学理学研究科、 ⁶ Graduate School of Geoscience, University of the Witwatersrand、 ⁷ 大阪大学理学研究科、 ⁸ 高知大学海洋コア総合研究センター、 ⁹ 立命館大学理工学部)	
S07P-01 北極域における内核の東西半球境界の位置の調査 *岩崎 理史(京都大学大学院)	S10. 活断層・歴史地震	
S07P-02 表面波波形フィッティングによる海洋地殻および上部マントルのS波速度構造の推定— 短周期成分を活用した初期モデルの構築 — *永井 はるか ¹ 、竹内 希 ¹ 、川勝 均 ¹ 、塩原 肇 ¹ 、一瀬 建日 ¹ 、杉岡 裕子 ² 、伊藤 亜妃 ³ 、歌田 久司 ¹ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 神戸大学、 ³ 海洋研究開発機構)	S10P-01 長者ヶ原—芳井断層の重力異常解析 松井 佑樹、澤田 明宏、*平松 良浩(金沢大学)	
	S10P-02 1914年桜島地震における鹿児島市内の石垣被害と震度分布 *小林 励司(鹿児島大学)	
	S10P-03 日記史料を用いた江戸末期の疑わしい被害地震の検証(1) *原田 智也 ¹ 、西山 昭仁 ² 、片桐 昭彦 ³ 、水野 嶺 ⁴ 、吉岡 誠也 ⁴ (¹ 無所属、 ² 京都大学防災研究所、 ³ 新潟大学災害・復興科学研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所)	
	S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力	
	S12P-01 注水による誘発地震の発生過程研究に向けた寒天ゲルを用いた弾塑性実験システムの構築 *吉光 奈奈 ¹ 、福山 英— ^{1,2} 、平野 史朗 ³ 、大寄 雅人 ¹ (¹ 京都大学、 ² 防災科研、 ³ 立命館大学)	
	S12P-02 4 MHz程度まで感度を有する広帯域超音波トランスデューサの較正 *川方 裕則 ¹ 、大内 智博 ² (¹ 立命館大学理工学部、 ² 愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター)	

10月16日(土) 口頭発表

A会場（Zoom会議室）午前 S20. 授賞式および記念講演 招待講演（講演時間17分・質疑応答3分）				
座長 安藤 亮輔				
9:00 授賞式 会長挨拶				
9:04 受賞者紹介				
9:18 受賞記念講演会				
9:19 S20-01# 多角的な視点による地震波動源物理学 *麻生 尚文(東京工業大学)				
9:39 S20-02# 巨大地震発生機構の理解と予測可能性に関する地震発生サイクルシミュレーション *大谷 真紀子(東京大学 地震研究所)				
9:59 S20-03# 地震・地殻変動多点連続観測データに基づく地球内部広帯域変動現象の研究 *高木 涼太(東北大学大学院理学研究科)				
10:19 総合討論				
A会場（Zoom会議室）午前 S01. 地震の理論・解析法 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）			B会場（Zoom会議室）午前 S08. 地震発生の物理 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）	C会場（Zoom会議室）午前 S10. 活断層・歴史地震 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
座長 竹尾 明子、前田 裕太			座長 吉田 圭佑、直井 誠	座長 石村 大輔、白濱 吉起
11:00 S01-01 Rayleigh減衰を用いたQ一定地震動の差分法計算 *藤織 一起 ¹ 、デリオ ホンチ ² (¹ 慶應大学大学院政策・メディア研究科、 ² 東京大学地震研究所)			11:00 S08-18 動的破壊モデルから考察する複雑な断層形状がもたらす糸線への影響 *青木 拓実 ¹ 、金子 善宏 ¹ 、Kearse Jesse ² (¹ 京都大学、 ² Victoria University of Wellington)	11:00 S10-01 表面照射年代測定を用いた野坂・集福寺断層帯集福寺断層の左横ずれ変位速度の推定 *白濱 吉起(産業技術総合研究所 地質調査総合センター 活断層火山研究部門活断層調査研究グループ)
11:15 S01-02 波形インバージョンにおける放射パターンを補正した経験的グリーン関数の先験情報依存性 *柴田 律也 ¹ 、及川 元己 ¹ 、麻生 尚文 ¹ 、中島 淳一 ¹ 、井出 哲 ² (¹ 東京工業大学理学院地球惑星科学系、 ² 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻)			11:15 S08-19 スペクトル比を用いた2000年鳥取県西部地震震源域におけるダブルカップル地震と非ダブルカップル地震の震源特徴の推定 *本越 拓実 ¹ 、松本 聡 ² 、飯尾 能久 ³ 、酒井 慎一 ⁴ 、加藤 愛太郎 ⁴ (¹ 九州大学大学院理学府 地球惑星科学専攻、 ² 九州大学大学院理学研究院付属地震火山観測研究センター、 ³ 京都大学防災研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所)	11:15 S10-02 琵琶湖西岸断層帯南部と黄檗断層の運動性に関する検討 *小松原 琢 ¹ 、西山 昭仁 ² (¹ 産業技術総合研究所 地質情報研究部門平野地質研究グループ、 ² 京都大学防災研究所)
11:30 S01-03 自己相関関数の誤差評価－反折断面推定の信頼性向上に向けて *前田 裕太、渡辺 俊樹(名古屋大学)			11:30 S08-20 室内水圧破碎実験によって誘発された微小破壊の地震モーメント・コーナー周波数推定 *直井 誠 ¹ 、今北 啓一 ¹ 、陳 友晴 ¹ 、山本 和敏 ¹ 、田中 壘 ¹ 、川方 裕則 ² 、石田 毅 ¹ 、福山 英一 ¹ 、有馬 雄太郎 ³ (¹ 京都大学、 ² 立命館大学、 ³ 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構)	11:30 S10-03 熊本県西原村布田における布田川断層の活動履歴 *石村 大輔 ¹ 、岩佐 佳哉 ² 、高橋 直也 ³ 、小田 龍平 ¹ 、田所 龍二 ⁴ (¹ 東京都立大学、 ² 広島大学、 ³ 東北大学、 ⁴ 千葉大学)
11:45 S01-04 近地地震を用いた受動的反射波イメージング: MeSO-netデータへのRTM法の適用 *白石 和也 ¹ 、渡辺 俊樹 ² (¹ 海洋研究開発機構、 ² 名古屋大学)			11:45 S08-21 Radiated energy and source complexity of small earthquakes estimated from a large source time function data base in Japan *吉田 圭佑 ¹ 、金森 博雄 ² (¹ 東北大学 地震・噴火予知研究観測センター、 ² カリフォルニア工科大学)	11:45 S10-04 1780年ウルフ島地震による北海道への津波の影響 *林 豊(気象研究所)
12:00 S01-05 昭和祈山内部の3次元S波速度構造及び海抜以浅の極微小地震活動 *竹尾 明子 ¹ 、西田 究 ¹ 、石瀬 素子 ¹ 、青山 裕 ² 、青木 陽介 ¹ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 北海道大学理学研究院地震火山観測研究センター)			12:00 S08-22 P波前地震重力信号に現れる地震波形と異なる見かけの震源励起依存性 *河合 貢太郎、亀 伸樹(東京大学地震研究所)	12:00 S10-05 昭和19年東南海地震における諏訪地域の詳細震度分布と被害 *奥山 加蘭 ¹ 、内山 琴絵 ² 、廣内 大助 ³ (¹ 信州大学教職大学院、 ² 所属なし、 ³ 信州大学)
A会場（Zoom会議室）午後 S01. 地震の理論・解析法 S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）			B会場（Zoom会議室）午後 S08. 地震発生の物理 S18. 地震教育・地震学史 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）	C会場（Zoom会議室）午後 S10. 活断層・歴史地震 S07. 地球及び惑星の内部構造と物性 通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）
座長 S01.高野 智也／S12.小村 健太郎			座長 S08.平野 史朗／S18.光井 能麻	座長 S10.白濱 吉起／S7.一瀬 建日
13:30 S01-06 脈動P波の震源カタログ: 波浪モデルWAVEWATCH IIIとの比較 *西田 究 ¹ 、高木 涼太 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター)			13:30 S08-23 ω^{-2} モデル、モーメントの3乗則、およびGR則を満たす確率的震源時間関数 *平野 史朗(立命館大学理工学部)	13:30 S10-06 「高野家記録」を用いた18世紀の宮城県南部の地震活動の分析 *漆原 惇、加納 靖之、大邑 潤三(東京大学地震研究所)
13:45 S01-07 日本列島の地殻浅部における地震波速度変化の地球潮汐応答 *高野 智也 ¹ 、西田 究 ² (¹ 弘前大学大学院理工学研究科、 ² 東京大学地震研究所)			13:45 S08-24 テクニック微動から低周波地震を抽出する *井出 哲(東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻)	13:45 S10-07 関東甲信越の史料を用いた安政江戸地震の余震活動の分析 *馬場 道人、加納 靖之(東京大学地震研究所)
14:00 S01-08 海底地震観測による地震波ノイズを使ったグリーンランド氷河の流動速度の検出 *村井 芳夫 ¹ 、ボドリスキ エヴゲニ ² 、漢那 直也 ³ 、杉山 慎4 ² (¹ 北海道大学理学研究院、 ² 北海道大学北極域研究センター、 ³ 東京大学大気海洋研究所、 ⁴ 北海道大学低温科学研究所)			14:00 S18-01 国立科学博物館で開催した東日本大震災からの10年間についての企画展 *室谷 智子(国立科学博物館)	14:00 S07-01 千島ー本州スラブ海側の410-km不連続面 直上の低速度異常 *大林 政行、吉光 淳子、深尾 良夫(海洋研究開発機構 火山・地球内部研究センター)
14:15 S12-01 稠密地震観測によって推定された近畿地方北部の応力場 *田中 俊雄 ¹ 、飯尾 能久 ² 、片尾 浩 ² 、澤田 麻沙代 ² 、富阪 和秀 ² (¹ 京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻、 ² 京都大学防災研究所付属地震予知研究センター)			14:15 S18-02 活断層の長期評価と地震動予測に関する理学系専門家向けアンケート調査 ー不確実性を有する情報の発信方法改善に向けてー *光井 能麻、鷲谷 威(名古屋大学 防災連携研究センター)	14:15 S07-02 熱伝導率の異质性を考慮した東北地方沈み込み帯温度構造のモデリング *森重 学 ¹ 、田阪 美樹 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 静岡大学)
14:30 S12-02 大阪平野下基盤における原位置地殻応力(3)ーコア変形法による再計測ー *小村 健太郎 ¹ 、船戸 明雄 ² 、伊藤 高敏 ³ (¹ 防災科学技術研究所、 ² 深田地質研究所、 ³ 東北大学流体科学研究所)			14:30 S18-03 ヤフーコメントから探る民間の地震予測を信じる理由 *織原 義明(東京学芸大学教育学部)	
14:45 S12-03 断層摩擦発熱の指標としての炭質物の熱熱成反応の含水条件下での実験的評価 *岩垣 恵太、廣野 哲朗(大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻)			14:45 S18-04 平成29(2017)年改訂学習指導要領での小中学校「理科」における地震、地震防災・減災の取扱い *根本 泰雄(立命館大学理工)	

#は招待講演